

【報告】

平成 29・30 年度の事業報告

〔総括〕

平成 29・30 年度の学友会事業は、これまで通り「会員相互の親睦を図る」、「母校の発展を後援する」を念頭に常置委員会を中心に活動を行い、ほぼ計画通りに達成できた。

1. 母校への後援活動について

入学式・卒業式に臨席し祝辞を述べ、その中で学友会の活動を紹介した。加えてオープンキャンパスでの学友会相談コーナー設置、保護者会との懇親会、就職懇談会の開催など積極的に学園行事に協力した。

2. 支部活動の支援と連携について

会員相互の親睦・親交を積極的にはかって頂くため、定期的な支部総会の開催を要請すると共に、出席要請のあった支部には会長及び本部役員が出席するよう努めた。

3. 学友会名簿 2018 年版の発行について

広告収入も厳しい情勢の中、2 年ごとに発行している会員名簿を 2018 年 11 月に発行した。

〔委員会計画〕

1. 庶務委員会

通常の業務として理事会(年 4 回)および各委員会、打合せ会議等の開催案内および会議運営を行った。学友だより(年 4 刊)の発送、ホームページの定期的な更新および内容の充実を図った。会員情報管理、支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行った。また、支部総会および同窓会開催時には、会員宛名シールの提供および案内状発送等の支援を行った。

2. 編集委員会

「学友だより」を下記の通り年 4 回、計 8 号発行し情報発信した。

学友だよりの内容について、予定していた掲載事項と投稿された原稿、報告を掲載し、加えて随時送られてくる事項について、遅滞なく掲載した。計 8 号の総頁数が 72 頁となり、前年度総頁数 74 より 2 頁減少した。

通巻 223 号	2017 年(H29-No1)	平成 29 年 4 月 10 日発行	8 頁
通巻 224 号	2017 年(H29-No2)	平成 29 年 7 月 10 日発行	16 頁
通巻 225 号	2017 年(H29-No3)	平成 29 年 10 月 10 日発行	8 頁
通巻 226 号	2018 年(H29-No4)	平成 30 年 1 月 10 日発行	8 頁
通巻 227 号	2018 年(H30-No1)	平成 30 年 4 月 10 日発行	8 頁
通巻 228 号	2018 年(H30-No2)	平成 30 年 7 月 10 日発行	8 頁
通巻 229 号	2018 年(H30-No3)	平成 30 年 10 月 10 日発行	8 頁
通巻 230 号	2019 年(H30-No4)	平成 30 年 1 月 10 日発行	12 頁
			総頁数 72 頁
通巻 231 号	2019 年(2019-No1)	平成 31 年 4 月 1 日発行	8 頁

3. 企画委員会

(1) 就職懇談会

①平成 29 年 6 月 3 日 [A304 号室]

平田美紀(大 6 回)、廣島 桜(大 3 回)、八木充人(短 17 回)、木下尚哉(大 7 回)に講演していただいた。施設の業務内容や勤務体制などの職場環境、診療放射線技師としての職業意識、採用試験準備等の助言があった。

②平成 30 年 6 月 2 日 [C303 号室]

水上大空(大 7 回)、吉田隆人(大 6 回)、八木充人(短 17 回)、竹井 美佐希(短 13 回)、中村 登紀子(短 10 回)に講演していただいた。「先輩からの一言」としてそれぞれの立場から国家試験対策と就職活動、就職活動や就職先選び及び就職後のアドバイス。予防医学の特徴。女性技師のライフスタイル、産休育休。論文執筆に子供同伴の勉強会などについて講演いただいた。

30 年度よりの試みとして、「採用する側からのアドバイス」として、錦成郎(54 回生)より面接のポイント、卒後教育等について話していただいた。

③平成 29.30 年共に懇談会後は [あずまや] に於いて BBQ(バーベキュー)を行い、さらなる質問、学生たちとの交流を行った。

(2) 学園祭での相談コーナー

①平成 29 年 10 月 28 日 [C116 実験自修ホールおよび食堂]

高校生、保護者に対する相談コーナー 在学生に対する懇談コーナー
模擬店(学生による天ぷら、西谷副会長によるウナギご飯の販売を行った。)
実験室ブースでは DVD にて「放射線業務」の紹介を行った。

②平成 30 年 10 月 20 日 [C117 ホールおよび食堂]

高校生、保護者に対する相談コーナー
在学生に対する懇談コーナー
実験室ブースでは DVD にて「放射線業務」の紹介を行った。

③平成 29.30 年共に後夜祭にて在学生のさらなる質問の対応、交流を行った。

4. 名簿委員会

(1) 名簿の登録および変更

平成 28 年度卒 72 名、平成 29 年度卒 97 名の卒業生を正会員として加えたほか、勤務先・自宅等の移動申請に伴って、随時変更を加えた(年間 200 件程度)。また、名簿発行にあたり、現況確認ハガキを全正会員に送付し(全 3,500 件に対して 250 件程度の変更あり)、情報の正確性の向上に務めた。

(2) 名簿の頒布

平成 30 年度に 2018 年版会員名簿を発行した。広告収入が 13 社 750,000 円(前回 13 社 680,000 円)、頒布収入が 190 冊 380,000 円(前回 232 冊 464,000 円)であった。また、発行に掛かる費用は合計 999,133 円(前回 1,345,912 円)であった。

5. 表彰委員会

(1) 表彰対象者の選考

「表彰規定」および「名誉会員並びに表彰候補推薦内規」に則り、各支部からの推薦者を含めた表彰対象者の選考を行った。

(2) 名誉会員の選考

『名誉会員』会長・理事を歴任した神澤良明(兵庫支部、43 回生)を名誉会員の推戴候補者として理事会に推薦した。

(3) 2019 年度学友会総会表彰者等

『学友会功労賞』贈呈者として前会長の神澤良明(43 回生)を理事会に推薦した。『感謝状贈呈者』として田中龍蔵(48 回生)、川島 剛(50 回生)、川光秀昭(54 回生)、磯田康範(55 回生)、早川精一(賛助会員)の 5 氏を理事会に推薦した。

なお、『学友会栄誉賞』、『学友会奨励賞』の該当者はなかった。

6. 財務委員会

(1) 一般会計

収入について、良好な進捗(全体で 103%)であり、総額 10,470,430 円(前期 10,640,528 円)となった。支出では、学友だより発行費が 1 号あたり 24 万円程度(前期 27 万円)、名簿発行費が 98 万円程度(前期 135 万円)と、前期より減額できた。

また、前期は宅配業者による遅配が生じたため今期より日本郵便に変更したが、通信費は 1,396,072 円(前期 1,515,347 円)と同程度となった。その他、概ね良好な進捗(全体で 81%)であり、総額 8,210,380 円(前期 8,683,152 円)であった。次年度の繰越金は 2,260,050 円(前期 1,957,376 円)となった。

(2) 終身会費

会費収入は新入生 183 名(2 年間)であり、5,490,000 円であった。また、積立金(国債)による利息は 906,670 円であった。支出では、一般会計へ会費収入を繰り入れたため、前期繰越金より利息分だけ積立額が増加し、総額 42,083,194 円となった。

また、期中に保有国債の一部(額面 500 万円)が償還を迎えたため、保有預金 500 万円と合わせて 20 年国債(額面 1,000 万円、利率 0.5%)に切り替えた。

(3) 21 世紀創生基金

今期 1 件の寄附があり、総額 100,000 円であった。今期は支出がなく、繰越金は 5,170,551 円となった。

以上